



2020～21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Weekly Report Niigata



2020～21 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀松



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー

2020～21 年度テーマ

ロータリーは機会の扉を開く

新潟 RC 10月第 2 例会 (2020.10.13)(書面例会併催) No.3339

(1) ロータリーソング「四つのテスト」ピアノ演奏

(2) 高橋 秀松会長挨拶

皆さんこんにちは。このところ急に涼しくなってきました。衣替えが追いつきません。この時期、不用意に風邪などを引くと誤解をされる恐れがあります。お体に気を付けてお過ごしください。

さて皆さんには、案内が届いているとは思いますが、佐藤ガバナーより10月7日の地区ガバナー指名委員会を受けて2022～2023年度のガバナーとしてわが新潟ロータリークラブの高橋秀樹さんが決定したとの通知がまいりましたのでご報告いたします。私は高橋秀樹さんのようなハイレベルな人材を新潟ロータリーからガバナーとして排出できることを誇りに思っています。

過日はロータリーの徽章の話がでましたので、ロータリー徽章の変遷についてしらべてみました。ロータリーの歯車は1924年から変わりませんが、ロータリーの初期には幾度となくデザインが変更されました。



1905年頃シカゴロータリークラブは当初馬車の車輪をシンボルにしていました。当時のアメリカでは、馬車が交通手段として使われた時代です。回転する車輪は、各会員の事務所を持ち回りで例会を開くロータリーに合うシンボルマークとして採用されていました。



その後、マークに動きがないという指摘から、車輪の前後に「雲」をつけ動きを表し、車輪の上に「ROTARY CLUB」のロゴが入りました。しかし、砂埃と間違われた上、ある会員から車輪の前に砂埃は立たないという指摘が出て、車輪の前の「砂埃」を取り除きました。



1910年には、埃と間違われる「雲」から吹き流しのリボンを使ったマークになりました。この図案が1912年頃まで多くのロータリークラブの徽章として使われていました。



1912年、馬車の車輪ではロータリークラブの精神を表さないとする意見から、フィラデルフィア・クラブの歯車を使った徽章が正式に採用され、今度はスポークが8本、歯が19本でした。フィラデルフィア・クラブがアメリカで19番目のクラブだったのが理由のようです。



1920年その後専門家から、このスポークが8本の歯車は技術的に不完全であり、このままでは動かないとの指摘があり、スポークが6本、歯車を24個としたデザインが1920年正式に採用公布となり、今日私たちが親しんでいるロータリー・マークの原型が出来上がりました。



1924年には、中心に楔穴(クサビアナ)が無く、これがないと空回りしてしまうことを指摘され、楔穴も付け加えられ現在のマークになりました。



2013年には、新たに歯車も「誇りシンボルとして」用いられるようになったわけです。ちなみにスポークの6本は6つの大陸を表し、24個の歯車は24時間を表し、世界のロータリー会員が、24時間連携するという意味が込められているそうです。

先達の思いのこもった徽章について、1993年～1994年度のRIロバートRバース会長は、次のように述べられていました。ロータリアンが徽章をつけているときは、次のことを意味しています。

・あなたは私を信用していただいても結構です。私は信用に値する人間です。

・私の用意はできています。何時でもあなたのために奉仕します。

・私は、受けるもの以上の物をあなたに与えます。私は人のために奉仕をします。

というものです。

ロータリーの徽章の着用は、ロータリアンの誇りを示すと同時に、その責任と義務を表しています。まさに襟を正して着用しましょう。

以上徽章、バッジについてのお話とさせていただきます。

(3) 高橋 秀樹ガバナーノミニエ挨拶

ガバナーノミニエのご指名をお受けし緊張し恐縮しております。そもそも、会員の皆様の中には私の事をご存知ない方も多いかと存じます。5年前に会長を務めさせて頂いてから後、後ろの方の席で目立たない様になっておりましたので。

新潟ロータリークラブのガバナーノミニエ指名委員会が開催された後、本件についてお話をうかがい、思いがけない展開に愕然としました。別室で1時間半ほど地区の事情や諸々の情勢など詳細に御説明を受けて説得され、結局お受けしないといけないのだなああと観念しました。

しかし、ガバナーノミニエの推薦は地区から個人に依頼されるものではなくてクラブにされる仕組みとなっております。地区が私をガバナーノミニエとして承認したとはいえ、地区の期待は個人ではなく新潟ロータリークラブに対するものであります。会員の皆様におかれましては、ぜひこのことを御理解の上、格段の御協力をお願い致したく存じます。私は、RIとクラブ、RIと地区、地区とクラブのつなぎ役を精いっぱいやらせて頂くべく、ロータリーを改めて勉強しなおして不足がない様に努めて参りたいと思いますので、御指導、御鞭撻の程お願い申し上げます。今後、地区のお役目をお願いすることがあるかと思いますが、ぜひ御理解の上、御協力賜りますようお願い致します。

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(高橋 秀樹委員長)

石本隆太郎君 白勢 仁士君

米山奨学会寄付発表(梶坂 昌春委員)

石本隆太郎君 安藤 栄寿君

青少年育成基金寄付発表(本多 晃副委員長)

星野圭二郎君 樋熊 紀雄君

徳永 昭輝君 本多 晃君

(5) ニコニコボックス紹介(田中孝佳委員)

・石本隆太郎君 RI第2560地区ガバナーノミニエに高橋秀樹さんが決定し、心よりお慶び申し上げます。

・秋山 博一君 10月10日、昔でいえば体育の日に公益財団法人新潟県スキー連盟の会長に就任しました。今後は競技力の向上はもとよりウィンタースポーツ人口が増えるように2年連続の小雪やコロナ禍ではありますが頑張ります。

(6) 徳永 昭輝さんへ米山功労者第26回メジャー

ドナー感謝状伝達

(7) 幹事報告(佐藤 邦栄)

10月5日、6日に開催された地区ゴルフ大会の結果報告(新潟RCは団体戦 33位)

(8) 「ロータリー米山記念奨学事業」

安藤 栄寿米山奨学委員長

10月20日の例会予定

「オン・ラインによる佐藤 ガバナー公式訪問」

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>